



昭和12年のモダン都市へ



2009年4月27日(月)~7月4日(土) 10時30分~17時
 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 (日曜・祝日は休館)

入館料 無料

ミュージアム・レクチャー ▶ 5/2、5/9、5/16、5/30、6/6の各土曜日、午後2時から館内3階セミナー室にて。(聴講自由、開始30分前より受け付けます。会場の都合で希望者多数の場合は入場できないことがあります。講演の内容は当館ホームページをご参照ください。)

主催:大阪大学総合学術博物館・大阪歴史博物館 共催:大阪大学大学院文学研究科 協力:大阪大学21世紀懐徳堂

大阪大学総合学術博物館事務室 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 TEL:06-6850-6284 <http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>



大阪大学総合学術博物館 第4回特別展

昭和12年の

観光映画「大大阪観光」の世界



モダン都市へ

いま大阪では、世界的なグローバル化の流れの中で経済・行政のありようが激変し、文化や芸術には閉塞感が漂い、未来への展望はきわめて不鮮明です。

このような状況の今こそ、大阪という都市の未来を語る上で、その成り立ちや過去の姿を再認識することが求められています。

昭和12年(1937)、大阪市電気局と産業部による観光映画「大大阪観光」(大阪市指定文化財)が制作されました。

この映画は、大正14年(1925)に第二次市域拡張で面積・人口とも東京市を抜いて、日本第一のマンモス都市“大大阪”に膨張した大阪市が關一市長の施政下、変貌を遂げた姿を映像化したものといえます。映画で謳われるのは、古代の難波宮以来の歴史と伝統ある都市としての大阪であり、一方、それとは対照的な、御堂筋や地下鉄の建設、築港の整備、「都市美」を意識した街づくり、美術館、動物園、電気科学館などの文化施設を完備したモダン都市・大阪の発展する姿でした。

本展覧会は、“大大阪”の時代を貴重な映像で記録した観光映画「大大阪観光」をとりあげ、観光艇「水都」からの風景をはじめ、映し出される名所名跡や観光施設を、当時のパンフレット、広告、出版物、報道写真など、関係資料約120点をもとにたどります。また、観光客誘致の映画として制作された明るいイメージから逸脱した要素、“大大阪”の美名の陰で深刻化した都市問題をとりあげるほか、行政が演出する「都市観光」にひそむ、都市の“迷宮性”にも触れたいと考えます。

2009年 4月27日(月)～7月4日(土) 10時30分～17時 (日曜・祝日は休館)



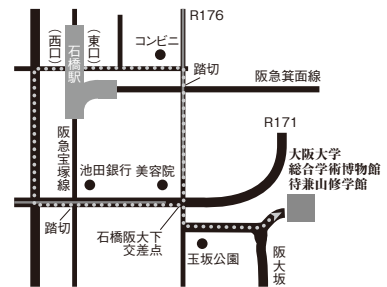
会場：
大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20(大阪大学豊中キャンパス)
TEL 06-6850-6284

入館料 無料

ミュージアム・レクチャー [毎回午後2時より] 館内3階セミナー室にて

聴講自由、開始30分前より受け付けます。会場の都合で希望者多数の場合は入場できないことがあります。

- 第11回 5/2 (土) 「観光する大阪人—近代大阪の余暇と郊外—」
船越幹央 大阪歴史博物館
- 第12回 5/9 (土) 「道頓堀と千日前—近代大阪の育んだ芸能・演劇—」
横田 洋 大阪大学総合学術博物館
- 第13回 5/16(土) 「汚い大大阪—水からみた都市大阪の衛生環境—」
廣川和花 大阪大学総合学術博物館
- 第14回 5/30(土) 「大大阪の建築事情—ビルディング・ラッシュと郷土建築—」
酒井一光 大阪歴史博物館
- 第15回 6/6 (土) 「《大大阪観光》の映像を読む—メディアが作る“大大阪”イメージ」
橋爪節也 大阪大学総合学術博物館



■交通のご案内：
阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩10分
※公共交通機関をご利用ください。また、当館はバリアフリーですので、障害者向駐車スペースをご利用ください。



主催
大阪大学総合学術博物館、大阪歴史博物館
共催
大阪大学大学院文学研究科
協力
大阪大学21世紀懐徳堂



<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>